

# とんからりん

サカタ二友の会ニユース

発行者  
株式会社サカタニ  
集西薬・サカタニ  
ファミリーマート  
サカタニ京都七条店  
〒605-0993 京・  
東山区七条こころ坂下  
・075-561-7974  
URL [www.sosake.jp/](http://www.sosake.jp/)  
E-mail [info@sosake.jp](mailto:info@sosake.jp)  
とんからりんは  
毎月発行の  
会員新聞です  
編集・酒谷義郎  
yosi rou@sosake.jp

## 宮崎県の 災難



雲にそびゆる高千穂のは紀元節の歌。小学生時代6年間2月11日に学校で歌った。当時は天皇は神様、その祖先天照大神の孫である瓊瓊杵尊(ににぎのみこと)が、葦原中国(日本)平定統治のために「高千穂の峰(宮崎県)」に降臨した日本神話からその子孫『古事記』では神倭伊波礼琵琶古命(かむやまといわれひこのみこと)の神武天皇が初代天皇即位され日(紀元前)2年2月11日(紀元節)とした。今は建国記念日(国民の祝日)である。毎年違和感を感じるその日の毎日新聞「余禄」に

【浅間焼けて上州武州数百村、砂振り泥押し難儀、大方ならず」という天命の浅間山噴火の時のことだ。泥流に埋まった川の復旧を行なう人々の中に、ざるで土を運ぶ10歳ほどの男の子がいた。聞けば近村の富農の子という。古老の話では子の親は「う言っ

て出仕させているのだという。「噴火で民が困窮し、公儀も巨費をかけた復興に取組んでいる。余裕のある暮らしを自分らは安居していい。余裕のある暮らしを自分らは安居していい。子には身をもってこの事態をわきまさせたい」以下は略す】

これを読んで連日報道の鹿児島宮崎県境新燃岳の噴火ニユースの連想で、紀元節・高千穂・宮崎・東国原が頭に浮んだ。宮崎は昭和30、40年頃は新婚旅行のメッカ・温暖な所でプロ野球のキャンプ地でもある。その宮崎にビートたけしの弟子そのまま東氏(東国原英夫氏)が、県知事(無所属)当選、直後に高病原性鳥インフルエンザが発生、牛、豚、フルエンザが発生、牛、豚、の口蹄疫発症が2009年3月頃発生。今年の1月20日宮崎県知事を任期満了により退任した直後新燃岳の噴火した。更に1月22日宮崎市佐土原町の農場で鳥インフルエンザ感染が見つかった。今こそ「(宮崎を)どげんか



「セールスマン」不要。下じもとのパイプが詰まりか

「朝粥食べておシャベリ会」報告を掲載してましたが、今号は2ページになっていきます。

「とんからりん」は「気楽な稼業ときたまんだ 植木等」ではな

「マン」知事」の力はその品質の土台が有ったから「セールス成果」があがったと思う。

「どげんせんといかん」は江戸弁でどう言うのかお聞きしたいもんです。(お聞きたいの京ことば)念の為に言うときますけど、京の人は「イケズ」意地悪「やから京都は来てもあきまへん工!」。

「何故ですか!」と不満顔で店番の子に抗議する母親?。「マクドのものはマクドで」というと2度と来るかの顔でお帰り下さった。

「とんからりん」は「気楽な稼業ときたまんだ 植木等」ではな

「とんからりん」は「気楽な稼業ときたまんだ 植木等」ではな

「とんからりん」は「気楽な稼業ときたまんだ 植木等」ではな

せんといかん、前宮崎に、前宮崎知事の東国原英夫氏が都知事に立馬を前提に準備を進め、政治活

立春朝搾り 日本名門 酒会

「とんからりん」は「気楽な稼業ときたまんだ 植木等」ではな

### ページ変更

毎号このページに前月開催の「朝粥食べておシャベリ会」報告を掲載してましたが、今号は2ページになっていきます。

### 部屋付きバイト募集

当社3Fバス・トイレ・キッチン・冷暖房付き空部屋あり。バイト勤務条件で低額でお貸しします。保証人要 下さい。

### 「とんからりん」

当社2階の「ギャラリー集」は24席の「カフェ」も兼ねたスペース。1階の「ファミマ」でお求め下さった弁当などは持ち込み可としている。

京都女子学園や大谷高校の生徒もパン等を買ってそこで食べる。中には大声で仲間話や、行儀悪い子たちもいるが即「駄目だし」をする。

最近はそのような必要が無くなつた。「五月蠅いジジイ」もチョットは教育に貢献出来たんだと言っていた。昔は近所にそんなジジババが山ほどいた。

先日、30歳代の子連れの女性が近くの「マクド」の商品を持ち込みテーブル席に座ろうとした。他店のものは困ると告げた。

「何故ですか!」と不満顔で店番の子に抗議する母親?。「マクドのものはマクドで」というと2度と来るかの顔でお帰り下さった。

ヨシちゃん  
ひとりごと



可愛い子には  
旅をさせ

「ヨシちゃん 編集者」は  
今月、満年令の「喜寿」を迎  
えられました。

幼い頃は病弱でクレゾールの匂いと看護婦さんに囲まれて育ちました。お医者さんは「学校行く迄育たないだろう」と祖母に言ったそうです。

免除で教室で自習、偏食で野菜は殆んど食べない子でした。そんな子だから集団疎開は駄目と敗戦年(六年生)祖父の出身地の炭山(今は宇治市)の親戚に一人で疎開しました。炭山は当時、電気水道ガスもなく新聞は三日まとめてくる、京阪六地蔵までは約一時間余歩く山村でした。夜はランプ、燃料が無く一箇所残し消されます。淋しくて布団の中で静かに泣きました。



疎開時通った宇治市立笠取第二小：100週記念誌より、複式授業2教室でした。

親戚でもその家の習慣に合わせる生活になります。朝6時過ぎに起き、おくどさ(竈)に火を入れ湯を沸かしお粥をつくり朝食後、鶏の工サの「ハコベ」を摘み与え、鳥小屋掃除し学校へ。学校から帰ると、「割木柴」をとり山へ、終わる牛の世話をす。全く村の子と同じ日課になりました。

トマトがこんなに美味しいものと知り、野菜が殆んどの食生活で偏食は治り、最初一束しか運べない「割木」が三束でも平気で運べる身体になりました。僅か六ヶ月の山村生活で、全く別人のような健康体になったのです。同時に人の顔色を読む、辛いことでも少々は我慢出来るようになったのです。

古くから「他人の飯を食わせ」、「可愛い子には旅をさせ」という諺があります。「今の若い者は・・・」と続けるつもりでしたが、今は喜寿と言っても壮年です。年寄りは相撲の世界で充分とお説教は米寿までヤメときます。

追\*疎開当時何度も歩き、以後も毎年先祖墓地、友人も居る炭山に車で5分の地が宅地開発され平成4年にそこに住み店に通っています。宇治市は京都よりゴミの分別回収が徹底し、殆んどゴミが出せ

が矢張り京都が良い、隠居は先延ばししてもう一頑張りしようかな? します!。ご支援を!

ビール大手4社の  
10年12月期連結決算

国内ビール市場が頭打ちでも、アサヒ・サッポロ・サントリーは新興国、その他諸々系列会社の利益等を加えて過去最高の利益と聞く。キリンも前年比を割ったが相当の利益を上げている。消費者金融大手で会社更生手続き中の「富士」の元専務贈与が非課税扱い訴訟で、国は納付済み分そのと利息で2千億円払

うと報じられた。ビール会社とサラ金で同列ではないが、前者の利益の背後に、長年それを担いで販売した酒小売店は激減していることがある。後者はサラ金は高利息でぼろ儲けした財産贈与相続分が「基」であろう。借りた方の責任も有ろう。が、両方とも、何か釈然としない。序でのもう一つ釈然としないのは先日公表された政治家さんたちの資産公開額。カラクリか、ウソを付いているとしか思えない大きな「金額」が並んでいた。「うそつきは泥棒の始まり」でしたね。

「ベトちゃん、ドクちゃんは、一つの骨盤、直腸、肛門を共有した二重胎児。ベトナム戦争終

第74回朝粥食べておしゃべり会報告

2/20 2月第3日曜

今回の朝粥を食べる前、お話しは藤本文朗様(滋賀大学名誉教授・東山区在住)ベトちゃん、ドクちゃんの発達を願う会(代表)に「ビデオ」を見ながらお話を「お聞きしました。」

「ベトちゃん、ドクちゃん、ベトナムでは今もその影響で障害等が多く発生している。藤本さんは2008年ホーチミン市ツースー病院に移つた兄弟に出会い、兄弟と驚嘆の歓声が起こった。近代戦争の惨さを改めて知った。



ポランティアの女性とドクちゃん結婚。1500円

サカタ二友の会  
会員カード更新のお願い

ご案内を同封してありますが「サカタ二友の会」は毎年3月末で次年会費1200円を戴き「カード(会員資格)」を更新いただいています。その時期になりました。宜しくお願い致します。「吹けば飛ぶような小さい会社」が偉そうに会費を取っています!とお怒りの方があると思いますが、26年間それで進んで来た頑固者に免じてご協力ください。友だち(会員様)は裏切らないよう努力を重ねます。お知り合いもお誘い下さい。

結(2008年2月25日)生ませ直ぐにベトドク病院(ベトナムと東独友好病院)預けた母親が行方不明。病院が兄をベト・弟にドクと命名した。兄弟に母はベトナム戦争時、米軍機の「枯葉剤(ダイオキシン)散布作戦で汚染された所で農業に従事していた。ベトナムでは今もその影響で障害等が多く発生している。藤本さんは2008年ホーチミン市ツースー病院に移つた兄弟に出会い、兄弟と驚嘆の歓声が起こった。近代戦争の惨さを改めて知った。

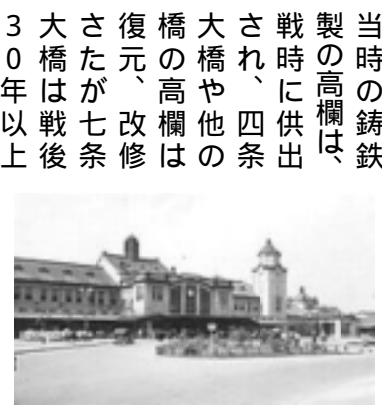
「ベトちゃん、ドクちゃん、ベトナムでは今もその影響で障害等が多く発生している。藤本さんは2008年ホーチミン市ツースー病院に移つた兄弟に出会い、兄弟と驚嘆の歓声が起こった。近代戦争の惨さを改めて知った。

京都&東山  
ぶらりピカリ  
26

京都・七条こころ坂  
七条大橋

今回から連載の「市電が走った街」(福田静二様)の第一話は「七条大橋」から始まりました。「こころ坂」はその橋の東詰が「スタート地点。写真も共用できるのでこの橋(再度)を取上げました。

この橋は、1959年(大2)4月14日開通式が行われ本町11丁目市田宇兵衛ご夫妻・校区生徒3500人が「渡始め」に参加した。以来98年間鴨川の他の橋は洪水で流失や付替えされたが、この橋は耐えた明治期の欧風様式を姿を残し貴重な都市遺産でもあります。明治末、京都が近代都市へ脱皮する大規模な都市改造の一端で、七条通を市電が走る幅に拡げ、橋完成後、二代目京都駅(写真)完成、駅前に市電ターミナルも出来ました。七条大橋は橋の長さ疏水上も入れて112m、幅員は18m、東京大学教授であった柴田畦作先生の設計、デザインにはセセツシヨン(分譲派)風意匠が採用され、下部工からアーチ部、高欄まで御影石が張られその一体感で、安定感があるりました。



当時の鑄鉄製の高欄は、戦時に供出され、四条大橋や他の橋の高欄は復元、改修されたが七条大橋は戦後30年以上木製で腐りかけた状態のままでした。余りにも醜い状態でしたので、編集者は当時入浴の放送「池田鑿三の守・トウテイ？」

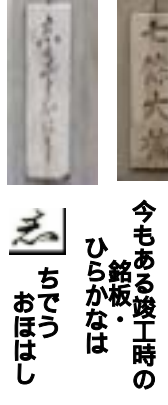
市電が走った街  
京都を巡る  
福田静二

今号から、京都を走っていた市電の停留所ごとに、付近の来歴や思い出を綴っていくことにしました。京都の市電は昭和五十三年に全廃されています。今年で三十三年の歳月が流れたことになりす。



七条大橋からは東山の穏やかな稜線が望めた。鴨川に架かる橋の中で最も古い

にこの橋の状況を投稿しました。それが放送された直後、木が「コンクリート」に変わり、更に「1989年(昭61)現在の「通し矢」をイメージする現在のデザインの高欄になったのです。実に47年間七条大橋は戦時中の姿だったのです。橋が人間であれば「数々の鴨川の洪水に耐えて一人(橋)で踏ん張って辛抱して98年。そやさかい、汚れてシミも出来ましたが、お化粧直しは無く



今もある竣工時の銘板。ひらかなはちでう おぼはし

私は市電が廃止されるのを惜しんで、撮影記録を行いました。その一部は、サカタ二さんのギャラリーで発表させてもらいました。いま、市電が走っていた街角に立って、それを偲ぶものは何もなく、街並みそのものが変わってしまいました。改めてその歳月の長さを感じます。

では、サカタ二さんの前を走っていた七条線から始めることにしましょう。市電時代には、鴨川沿いに京阪電車が走っていました。七条大橋では市電と平面交差して、



市電と京阪電車が交差する。昭和53年の市電

にも記されていますように、明治四十三年に京阪が開業。当時は、ひとつ上流の正面橋に「大仏前」、ひとつ下流の塩小路橋に「塩小路」の駅ができました。大仏詣でや京都駅へ向かう便宜を図って、両駅が設けられたよう、七条通にはまだ駅がなく、市電開通前の狭い道路でした。その後、七条通が拡幅され、市電七条線が走り始めます。大正二年のことで、この時に、京阪にも七条駅が設けられます。この結果、市電から京阪へ、京阪から市電への連絡乗車が可能になり、停留所付近は、いつも乗換客で賑わうようになります。でも現在のように歩道もなく、自動車の波をかき分け、怖い思いをして電車に乗ったものです。当時の市電の停留所名は「七条大橋東詰」でしたが、後年「七条大橋」に改称されています。七条大橋は、正しくは「しちじょう」ですが、「しじょう(四条)」との誤認を嫌って、とくに運輸関係者の間では、「ななじょう」と呼ばれていました。七条大橋を渡ってきた市電6号系統、烏丸車庫行きが見えました。さあ、この電車に乗って、京都を巡る小さな旅に出かけましょう。

福田静二様は京都の他に大阪・神戸市電の本を編集出版されています。

# 酒屋で生きて 生かされて

## 第五十七話

### 創業者 喜一郎

明治 末か

ら大4年ころまで七条付近は官鉄(国鉄)東海道線東山トンネル工事と七条通(北側民家取壊し)拡幅七条大橋完成、市電路線開通と大変動期でした。その勢いで商売も繁盛します。祖父は、父竹次郎没後(大2)、妹と弟二人を結婚させ、上の弟は吉田二本松町で酒屋。下は縄手三条下がるで米屋として分家をさせています。主家引継ぎ借財の返済も完了し、1923年(大12)、に四軒西の家を借り、「津」の屋号を「酒谷本店」と代えました。その家は間口2間半奥行き16間の母屋と蔵の間に庭のある京町屋でした。



紙風船 などの「お駄賃」。呑みに来

店はカウンター5席の居酒屋部分と壁面に四斗樽(本樽・ひと樽と言う)が六つ置いて「量り売り」をする小売部分に分け営業していました。この辺りは「ダウンタウン」で職人さんの多い町。徳利で酒の計り売りを買いにくる子供(昔は子供も良く働いた)には

たお客には「塩豆」をサービ入するなどし、住込みの番頭、丁稚女中さんも多くいました。店の奥の蔵には酒桶が五本と瑠璃のタンク一つ置いて有りました。(写真は梅乃宿さんの酒木桶だが、我家のは「京細の酒木桶」でモット細くて梯子も三段)

1944年(昭19)酒税の課税基準が造石高から庫出高に変更されるまでは、蔵元で原酒を買い「割り水調合」し瓶や徳利に詰め店の商標をつけて販売。伏見や近所の酒蔵から買酒して極めていました。水は



金なりと井戸を大切にしていた。 (戦争で配給でなり酒がなくなら

わが店では上等酒は神馬(シラカバ)・並酒は喜賞(ササガ)で販売、分家別家や親類友人に「酒場」の営業を勧め「神馬」を売る店が七軒出来て、千本中立売上る西側の「神馬酒場(右の写真)」はその流れの店。私の妹婿が先代から引継

## 日本古代史

### の謎 4 清水克彦

騎馬民族征服説によれば、第一次加羅系集団と第二次百済系集団の渡来がありました。



影御帝神 集古十種

1949~53年にかけて小浜基次が大規模な和人の生体計測(56,495人)を基にして、畿内人は東北・裏日本型和人よりも朝鮮人に近いことを明らかにし、埴原和郎は1989、87年にかけて、古墳時代とされている四世紀から七世紀までの間に、控え目にみても100万人以上の渡来者があったとしている。応神の親衛隊・東漢氏が応神天皇の御世に17県人民を率いた大規模な帰化をしているのはその一例。

第一次加羅系集団・騎馬軍団を有した崇神天皇は、342年頃南加羅の国王となり、360年頃に倭国に渡来して大和盆地の纏向に王都を建設し、加羅と日本列島内にまたがる連合王国を築いた。第二次百済系集団・百済・蓋鹵王(在位455~479)の弟・昆支(440~506)が461年に蓋鹵王の命で倭国に渡来して崇神王朝の入り婿となり、後に応神天皇となつた。今それらの根拠は割愛。騎馬民族征服説によれば古代の大事業がうま

く説明出来るのです。高句麗の広開土王(在位301~412)の碑文・土王は、400年に歩騎五万を派遣して新羅城に満ちた倭軍を退却させ任那まで追撃した。歩騎五万を要する「倭」は相当な勢力だったに違いない。第二次百済系集団・百済・蓋鹵王(在位455~479)の弟・昆支(440~506)が461年に蓋鹵王の命で倭国に渡来して崇神王朝の入り婿となり、後に応神天皇となつた。今それらの根拠は割愛。騎馬民族征服説によれば古代の大事業がうま

ぎ経営していて、いまは料理は祇園有名店で修行した甥が担当、近頃はチョット名が知られた「酒場」になっています。酒は佐々木酒造分のみ納入)喜一郎は、借家(軒と二上)年(昭19)東隣の家を購入、改築し「酒場」をつくり、番頭に経営をさせたが戦死し祖母が後を引き受け。戦時中は「国民酒場」に指定され大繁盛でした(敗戦間際酒が無く休業)喜一郎は敗戦直後58歳で亡くなり、財産は相続は男子一人つ子で長男の父一郎がしました。

**編集後記** 「酒屋で生きて」欄の小見出しの号数は、創業者喜一郎の記事を続けており前々号から変えておりません。喜一郎と同じ空気を吸っていた妹(当時2歳)を昨年亡くし、ご近所身内でもご存知の方は極少数になり、親族で私のみ。身内話でご迷惑でしょうがその流れの中で編集者の、店の今があり、そのつながりが「とんからりん」に至つたとお諦めください。祖母が生きてたら「因縁と思つとくりやす」と言うでしょう。「縁」つながりは自分で計り知れないことがママ(多く)起ります。最近「つながり」がブツブツ切られ悲惨で醜い事件が増え、逆に「つながり」を利用した詐欺事件も増えています。忠告・孫の声色覚えるべし！「つながり」を切る包丁は昔も今も金。諺曰く「金の切れ目は縁の切れ目」正解に近いが、それではチョット淋しいと思いませんか？。人(ホモサピエンス)は何十万年前から「群れ」で大敵から身を守り生きてきた動物。言葉も文字もそのコミニケーション用です。「つながり」は人類に不可欠なものと「とんからりん」は思います。「集まる力」の大きさをピラミッド(エジプト)で再認識した。